

<機能病態学教室・神経病理学分野 セミナー>

**Understanding the synapse organisation  
from structure to behaviour**



**Kunimichi Suzuki, Ph.D**

Investigator Scientist

Dr. Radu Aricescu Laboratory

MRC Laboratory of Molecular Biology

**日時：2023年7月28日（金）午後1時-2時**

**場所：東京大学薬学部 南館4階 大学院講義室**

Dr. Suzuki は当研究科博士課程においてシナプス接着分子 neuroligin 1 の神経活動依存的なタンパク分解とシナプス可塑性について研究を行い学位を取得しました (Suzuki et al., 2012)。その後、慶應大学医学部生理学教室にてポスドクとして研究を行い、in vivo 2光子イメージングによるミクログリアの動態解析 (Sun et al., 2019) や、傷害を受けた神経回路を回復させる人工シナプス誘導分子 (シナプスオーガナイザー) の開発を行いました (Suzuki et al., 2020)。現在は MRC LMB に在籍し、神経細胞、グリア細胞、細胞外マトリックス間の相互作用を分子構造と機能の点から研究し、新たなメカニズムの解明から創薬につなげる研究を進めている、新進気鋭の研究者です。今回、ご来日の際に最新の研究成果を伺う機会を設けました。大学院生だけでなく、PI・若手研究者の方々の多数のご参集をお待ちしております。

Reference

Suzuki et al., *Neuron* 76(2):410-422 (2012)

Sun†, Suzuki† et al., *Frontiers in Neuroscience*, May 7;13:421 (2019)

Suzuki†, Elegheert†, Song†, Sasakura† et al., *Science* 69(6507):eabb4853 (2020)

Contact

東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室 富田泰輔

tel: 03-5841-4868 e-mail: taisuke@mol.f.u-tokyo.ac.jp